

おおむた 市議会だより

第194号

平成27年度
第3回定例会

平成27年(2015年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成22年度以降



総合防災訓練(8月30日 明治小)

【主な記事】

- 平成27年度議会報告会を行いました／ぎかいの話題(2、3ページ)
- 新しく「まちづくり・活性化特別委員会」を設置しました／トピックス(12ページ)

ぎかいの話題

平成27年度 議会報告会を行いました



総合福祉センター（8月3日）



駿馬地区公民館（8月30日）

第5回となる議会報告会は、表のとおり、9会場で開催し、多くの市民の皆様に参加していただき、終えることができました。

開催までにご尽力いただいた地域役員の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

報告内容

報告会の前段に、昨年度の議会報告会で出された市行政に関する意見・要望のうち、行政より報告を受けた件について説明しました。

第1部では、「空き地・空き家

問題」に関する議会としての取り組みや国・県の動向、また、今後の本市の取り組みについて報告しました。

第2部では、議会活動の成果としての「中学校給食の完全実施」、「市立小中学校へのエアコン設置」などについて報告しました。

報告会の概要

参加された方の意見では、人口減少対策、三川坑跡の保存・活用、中心市街地活性化に関わる課題などアンケートのご意見を含めて約

180件の多岐にわたるご意見を寄せていただきました。

現在、議会改革特別委員会を中心に、寄せられたご意見の集約・分類作業を進めているところです。

9月に開催された定例会の質疑質問や決算特別委員会の中では、今回の報告会で寄せられたご意見も活かして、各議員が発言をさせていただきます。

今後も定例会や委員会をはじめ、あらゆる機会を通じて市政に反映させていただきます。

議員のよこ顔(その2)

高口 講治
議員

①64歳 ②歴木 ③山登り、写真、田舎散歩、釣り、ナマズの観察、50CCバイクでの日本一周旅行(夢) ④ケセラセラ=なんとかなるさ(弱い自分への慰め)。生活相談では、これがけっこう効きます。 ⑤海と山の自然に囲まれ、自然災害も少なく、温暖でやさしいまち ⑥短所は短気、あがり症。長所は自然を愛し、現世が天国と思えるところ。

島野 知洋
議員

①48歳 ②唐船 ③ソフトボール ④「伏すこと久しきは飛ぶこと必ず高し」人生に逆境はつきもの、その時期をどう過ごすのかが大切なのでしょう。 ⑤有明海の初島越しの夕日が多良岳に沈む、甘木山からのこの景色が大好きです。 ⑥長所は謙虚かつポジティブ、短所はケセラセラなところ。

塩塚 敏郎
議員

①57歳 ②恵比須町 ③音楽、将棋 ④「今日のあとに今日はなし」坂本竜馬が好きなんです。 ⑤祭り好きで人情味があるところが好きです。おいしいお好み焼き屋さんが多いですね。 ⑥人の話はよく聞かすが、少しだけ頑固です。でも、やさしいです。

城後徳太郎
議員

①34歳 ②通町 ③映画鑑賞、景色を見ること。 ④「焦らない。でも、諦めない。」「諦めないことだ。一度諦めると習慣になる。」 ⑤義理人情に厚い人が多く、気候が穏やかで自然災害が少ないところ。 ⑥物事に対して慎重な面があり、それが長所でもあり短所でもあると思います。

平成 27 年度議会報告会 参加人数

| 開催日 | 会場 | 男性 | 女性 | 合計 |
|----------|----------|-----|----|-----|
| 8月3日(月) | 総合福祉センター | 12 | 14 | 26 |
| 8月5日(水) | 大正小学校体育館 | 21 | 12 | 33 |
| 8月12日(水) | 勝立地区公民館 | 11 | 3 | 14 |
| 8月18日(火) | 三池地区公民館 | 15 | 7 | 22 |
| 8月20日(木) | 手鎌地区公民館 | 24 | 16 | 40 |
| 8月21日(金) | 労働福祉会館 | 12 | 11 | 23 |
| 8月26日(水) | 吉野地区公民館 | 33 | 15 | 48 |
| 8月30日(日) | 駛馬地区公民館 | 17 | 7 | 24 |
| 10月1日(木) | 三川地区公民館 | 14 | 6 | 20 |
| 合計 | | 159 | 91 | 250 |

※報道関係者を除く

参加者のアンケート集計結果 (抜粋)

回答者数 229人 () は昨年の議会報告会での回答割合 (昨年の回答者数234名)

○年代

20代以下(0.9%[1.3%]) 30代(3.5%[3.0%]) 40代(5.2%[10.7%])
50代(13.5%[9.4%]) 60代(33.6%[32.1%]) 70代~(41.5%[43.2%])
無回答(1.7%[0.4%])

○開催日時について

参加しやすかった(78.9%[80.8%]) 参加しにくかった(11.4%[7.7%])
無回答(9.6%[11.5%])

○内容について

満足(18.4%[16.7%]) やや満足(41.2%[42.9%])
どちらでもない(21.5%[22.3%])
やや不満(7.9%[8.2%]) 不満(1.8%[0.0%]) 無回答(9.2%[9.9%])

○議会に関心がもてた

もてた(43.4%[38.0%]) 少しもてた(36.4%[40.2%])
どちらでもない(9.6%[9.0%]) もてなかった(3.1%[3.0%])
無回答(7.5%[9.8%])

報告会で使用したスライド



空き地と空き家について

- 空き地とは・・・
現況が「農地」「林地」「道
路用地」等以外の「宅地な
ど」の土地のうち、「特に使
用していない土地」をいう。
- 「空き家等」とは・・・
建築物又はこれに附属する工
作物であつて居住その他の使用が
なされていないことが常態であるも
の及びその敷地(立木その他の土
地に定着するものを含む。)をいう。



空き地に関する
議会の取り組み



■中学校給食の完全実施

22年6月 市議会全員協議会
(総合計画2008~2015後期基本計画案)
↓
22年8月 市長への申し入れ ⇒ 総合計画に追加
↓
27年4月 旧原野小学校跡地へセンター建設
センター方式にて実施



田中 正繁
議員

①53歳 ②汐屋町 ③子供の笑顔と寝顔を見ている時 ④足るを知る。世に生を得るは事を成すにあり「坂本龍馬」 ⑤三池港から見る夕日と甘木山から見える大牟田のまち ⑥長所は、事務的作業がちょっと得意。短所は、書類などを捨てられないで貯めている。瘦せたいけど努力が続かない。



徳永 春男
議員

①59歳 ②倉永 ③石造アーチ橋探訪と昔の農機具収集(捨てる前にご相談下さい) ④できることを一步一步 ⑤生まれ育った自然あふれる里山の荒田比(倉永)です。⑥基本的には怠け者ですが、一方では120%の夢を描き、その実現に向けて体が自然に動いてじっとしておれなくなる場合もあります。



塚本 二作
議員

①70歳 ②教楽来 ③市政談義 ④努力に勝る天才なし ⑤自分が生まれ育った故郷であり防衛大・自衛隊・外務省を経て、Uターンしてきて、まだ大牟田再生の芽が残っているところ。⑥長所は特にあるとは思いませんが、熟慮断行。ここぞと一旦決めたら動じないのが短所です。



中原 誠悟
議員

①40歳 ②汐屋町 ③野球、アウトドア ④初志貫徹 ⑤三池港、三池山 ⑥困った人達からの頼まれた事を実行する事が長所だと思われるが、後先構わず行動してしまうところが短所だと思われる。これが私の長所でもあり、短所だと思います。

本会議運営のあらまし

本会議運営

■新たな特別委員会を設置 【第3回定例会】

平成27年度第3回定例会は、9月4日に招集され、9月30日までの27日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、4億2,920万円を追加する一般会計補正予算などの議案32件、意見書案や会議規則の改正案の発議10件、株式会社花ぶらすの事業報告などの報告8件の計50件でした。

本会議では、まちづくり総

合プラン等の諸課題について、10人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、26年度各会計決算関係議案は、決算特別委員会に付託し、審査を行いました。

最終日には、まちづくり・活性化特別委員会が設置され、総合計画に関して付託されました。

本会議最終日までに、意見書案の発議5件を除いた議案、発議をそれぞれ認定、可決して本会議を閉会しました。

決算特別委員会

■快適住マイル事業等へ要望

議員全員で構成する決算特別委員会（今村智津子委員長、田中正繁副委員長）を設置し、26年度の各会計決算関係議案8件について、9月17日から25日までの休日を除く4日間にわたり慎重に審査しました。

審査の結果、59項目の意見

・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、本会議最終日に全ての決算関係議案を認定・可決しました。このうち、今後の快適住マイル改修事業（住宅リフォーム助成事業）については、全議員により合意形成が図られ、市長に回答を求めることとしました。

平成26年度各会計決算の概要（1万円未満四捨五入）

| 一般会計及び特別会計 | | 歳入 | 歳出 |
|------------|---------|-------------|-------------|
| 一般会計 | | 559億5,466万円 | 554億3,303万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 166億1,227万円 | 166億593万円 |
| | 介護保険 | 129億1,769万円 | 129億1,412万円 |
| | 後期高齢者医療 | 20億3,127万円 | 19億9,379万円 |
| | 病院事業債管理 | 13億7,877万円 | 13億7,877万円 |
| | 事業会計 | 収益的収入 | 収益的支出 |
| 水道事業 | | 27億4,076万円 | 26億4,966万円 |
| 公共下水道事業 | | 33億9,064万円 | 30億7,992万円 |

議会日誌（7月～9月）

- | | |
|--|---|
| <p>【7月】 14日 議会報編集委員会 15日 市民教育厚生委員会 16日 議会報編集委員会 21日 議会改革特別委員会</p> <p>【9月】 1日 議会改革特別委員会 2日 全員協議会 3日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、総務委員会 4日 議会運営委員会、第3回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会 9日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕 10日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕 11日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会、各派代表者会 14日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会 16日 各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算関係議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、議会報編集委員会 17日 決算特別委員会 18日 決算特別委員会、各派代表者会 24日 決算特別委員会、各派代表者会 25日 決算特別委員会、起草委員会、各派代表者会 28日 起草委員会 29日 起草委員会 30日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算関係議案採決、閉会〕</p> | <p>【8月】 3日 各派代表者会 4日 総務委員会 5日 議会運営委員会 7日 市民教育厚生委員会 19日 都市環境経済委員会 28日 各派代表者会、議会運営委員会</p> |
|--|---|

委員会メモ

炭鉱電車の展示保存に向けて 【総務委員会】

8月4日の委員会で、炭鉱電車の移設・展示に向けた財源確保として、ふるさと納税制度を活用したガバメント・クラウド・ファンディング（自治体による資金調達）実施の説明を受けました。より多くの賛同や協力を得ることなどが期待されます。

高齢者インフルエンザ予防接種 【市民教育厚生委員会】

9月3日の委員会で高齢者インフルエンザ予防接種についての説明を受けました。10月からの接種期間が1月延びて4カ月間となり、自己負担額が700円（接種1回目のみ）となりました。ウィルスへの効果が、A型2種類とB型1種類からA型2種類とB型2種類に広がりました。

リン君の婚活成功

【都市環境経済委員会】

9月3日の委員会で、動物園の雌キリン購入のための募金プロジェクト「リン君の婚活大作戦」を展開する中で、埼玉県こども動物自然公園から、ブリーディングローン（繁殖を目的とした貸借）により、雌キリン導入が可能となった旨の説明がありました。

市議会に関するアンケートについて

【議会改革特別委員会】

これまでの議会改革の取り組み等の検証のため、無作為抽出した市民1,000人に市議会に関するアンケート調査を行っております。

なお、アンケート集約の結果については、本年度中にホームページなどにより公表します。ご理解とご協力をお願いします。

議案等の審議結果

| 議案等名 | 会派等名 | 自民 | 公明 | 護憲 | 共産 | 無所属 | | | | | 賛成数 | 審議結果 |
|------|---|----|----|----|----|--------|---------|--------|-------|------|-----|------|
| | | 6人 | 5人 | 5人 | 3人 | 島野知洋議員 | 城後徳太郎議員 | 塚本二作議員 | 中原誠議員 | 森遵議員 | | |
| 第19号 | 平成26年度大牟田市一般会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 認定 |
| 第20号 | 平成26年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 認定 |
| 第21号 | 平成26年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 認定 |
| 第22号 | 平成26年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 認定 |
| 第23号 | 平成26年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 認定 |
| 第24号 | 平成26年度大牟田市水道事業会計利益剰余金の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第25号 | 平成26年度大牟田市水道事業会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 認定 |
| 第26号 | 平成26年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 認定 |
| 第27号 | 平成27年度大牟田市一般会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第28号 | 平成27年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第29号 | 平成27年度大牟田市介護保険特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第30号 | 平成27年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第31号 | 大牟田市協働のまちづくり推進条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第32号 | 大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第33号 | 大牟田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第34号 | 大牟田市住民基本台帳カード利用条例を廃止する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第35号 | 大牟田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第36号 | 大牟田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第37号 | 大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第38号 | 大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第39号 | 大牟田市職員退職手当条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第40号 | 大牟田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第41号 | 大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 多数可決 |
| 第42号 | 大牟田スタートアップセンター条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第43号 | 請負契約の締結について（大牟田市御大典記念グラウンド第2種公認走路等改修工事） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第44号 | 権利の放棄について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第45号 | 過疎地域自立促進計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第46号 | 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（柳川市） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第47号 | 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（みやま市） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第48号 | 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（荒尾市） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第49号 | 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（南関町） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第50号 | 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（長洲町） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第12号 | 安全保障関連法案の廃案を求める意見書案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | 8 | 少数否決 |
| 第13号 | 消費税の10%への増税中止を求める意見書案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | 8 | 少数否決 |
| 第14号 | 原発再稼働の中止を求める意見書案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | 8 | 少数否決 |
| 第15号 | 労働基準法改正案の撤回を求める意見書案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | 8 | 少数否決 |
| 第16号 | 後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続を求める意見書案 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | 9 | 少数否決 |
| 第17号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書案 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | 15 | 多数可決 |
| 第18号 | 教職員定数改善と教育予算の拡充を求める意見書案 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 16 | 多数可決 |
| 第19号 | 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書案 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 | 多数可決 |
| 第20号 | I C T利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |
| 第21号 | 大牟田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 全会可決 |

| 会派名称 | 所属議員（★は会派代表） |
|-----------------|--------------------------------------|
| 自由民主党議員団（自民） | 徳永春男★、今泉裕人、境公司（議長）、田中正繁、光田茂、森竜子、山口雅夫 |
| 公明党議員団（公明） | 大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子 |
| 社民・民主・護憲クラブ（護憲） | 松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝 |
| 日本共産党議員団（共産） | 橋積和雄★、北岡あや、高口講治 |

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、それ以外の会派（または議員）を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わりません。

代表質問

市民の暮らしを守る社会保障制度の充実を



安保関連法案への 基本認識は

問 安保関連法案は、その法的根拠が揺らぎ、違憲性や危険性が明らかとなっている。

戦争法案が日本の将来や平和、安全、国民生活にどう影響を及ぼすと考えるか。

答 賛否両論があり、国民の理解が十分に進んでいない。

安全保障は国において責任を持って対処されるべき分野。

まちづくり総合プラン作成は 国政の評価を土台に

問 地方政治は国政に大きく影響を受けるので、総合計画作成には国政の評価が重要。どう分析し、反映させるのか。

答 国民や市民の理解につながるよう十分な議論を尽くし、政策を策定していく。国の動向は十分注視しつつも、市民との協働の視点に立って、自主的なまちづくりに取り組む。

国保減免制度の活用促進を

問 国保法44条に基づく、災害により資産に重大な損害を受けたときなどの一部負担

金の減免制度の利用促進が必要と思うが。

答 過去3年間で3件の申請があった。広報おおむたや納税通知書送付時にチラシを同封する

など制度周知に努力している。

問 医療を受け、命と体を守るために、税滞納者への短期保険証や資格証明書の発行をやめ、親身な納税相談・生活相談で解決すべきだと思うが。

答 26年度で、資格証明書の発行は57件、短期保険証は609件。滞納世帯の割合は約12%。受診の必要が生じた場合は納税協議を経て、保険証か短期保険証を発行し、治療も行われていると考える。

問 国保財政が厳しいため、県内75%の自治体を実施している一般会計からの基準外繰り入れが必要だと思うが。

答 基準内繰入基準を明確にし、繰入額の増額を図り、基準外繰入は行わない。国保以外の方々に負担を強いることになる。

介護保険制度の充実を

問 今回の法改正は保険制度の趣旨からすれば問題がある。例えば、特養入所要件が要介護3以上となるなど、保険制度なのにサービスが受けられない状況がある。また、施設入所者の居住費や食費に対す

る補足給付制度も改正されたが、対応を聞きたい。

答 これまでの対象であった1,655人のうち、8月末で1,326人が申請し、329人が未申請。対象者に通知した後、未申請者かつ施設入所者は施設への確認を行い、漏れがないよう対応した。

人権守る生活保護制度に

問 住宅扶助基準以上の家賃だからといって、強制的な転居指導ではなく、保護世帯の生活状況と合意に基づく働きかけを行うべきと思うが。

答 住宅扶助基準以上の家賃は生活を圧迫するので、転居などの指導をしている。



子供の医療費助成の拡充を

問 県の制度として子供医療費助成制度を来年から入院・通院とも小学生まで拡大するようだ。本市もさらなる制度の拡充を行うべきと思うが。

答 仮に助成対象を小・中学生の通院まで拡大した場合の費用は、概算で約2億4,000万円になる。

財源の問題はあるが、本市も拡充の方向で考えないといけないのかなと思う。(仮称)第5次総合計画の中で具体的に決められる問題だと思う。

本市の将来像を示す総合計画



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

「明治日本の産業革命遺産」の礎を後世に

問 世界遺産登録後の取り組みと課題について聞きたい。

答 国道・県道・市道に各施設への案内表示版を整備し、看板や横断幕等の設置を行った。来訪者は増加傾向であり、2カ月で約3万人。

課題は、市内関係団体や荒尾市等との連携による集客や来訪者向けの対応、広域的な観光PRなどがある。

(仮称)第5次総合計画への取り組みについて

問 本市の将来像を示す総合計画策定の考え方について聞きたい。

答 多様化、複雑化する地域の諸課題に柔軟に対応し、戦略的な視点で、時代や地域のニーズへの対応、地域資源の活用、目標の明確化、市民との協働の四つを基本的姿勢として掲げ、策定を進めてきた。

地方創生の取り組みについて

問 地方版総合戦略策定の考え方や推進について聞きたい。

答 国・県の総合戦略と策定中の(仮称)第5次総合計画との整合性を図り、具体的取り組みや数値目標、重要業績評価指標を掲げた大

牟田市版の総合戦略を策定したい。まち・ひと・しごと創生本部において、全庁一体となって取り組む。

住み続けたい魅力ある大牟田について

問 若者の夢へのチャレンジを応援する「夢にチャレンジ助成金」を創設してはどうか。

答 次世代を担う青少年が、将来の夢や希望を持って、心身ともにたくましく成長し、社会人として自立することは、大人の責務である。

若者の取り組みや活動状況も踏まえ、支援のあり方を総合的に検討していきたい。

問 文化芸術によるまちづくりについて聞きたい。

答 大牟田市文化芸術振興プランに掲げている各施策事業を、市民と行政が一体となって計画的かつ着実に推進することで、文化芸術の視野が広がる。

個性と創造性に富んだ心豊かな人づくりとふるさとへの誇りと愛着を持てる文化の薫るまちとなるよう、文化芸術活動が一層盛んに行われるまちを目指す。

若者の所得拡大・処遇改善に向けた(仮称)地方版政労使会議の設置

問 景気回復を地方へ波及し、地域の賃金を引き上げるための(仮称)地方版政労使会議の設置についての見解は。

答 労働者の所得の拡大や処遇改善の取り組みは、基本的には国が実施するものであり、今後、地方労働局等に設置がなされ、経済の好循環の実現に向けた取り組みが進められることを期待する。

RDF発電事業について

問 平成35年度以降のRDF発電事業の見通しについて聞きたい。

答 見通しは現時点では、白紙状態であり、仮に新たなごみ処理方法の検討が必要となった場合は、現行のRDF化施設の存続を含めた幅広い検討が必要となる。

RDF発電事業の方向性がわかり次第、平成35年度以降のごみ処理方法についての検討を始めていく。

新処理施設建設の場合は、6年から7年程度は必要であり、議会を初め、市民への十分な説明と情報公開のもとに進めることになる。



大牟田リサイクル発電所

代表質問

協働のまちづくり推進条例を活かした市民との協働のまちづくりを



社民・民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員

市長3期12年に及ぶ 市政運営の想い

問 市長は、11月の次期市長選挙に出馬されない考えを明らかにされたが、3期12年に及ぶ市政運営の想いを聞きたい。

答 この12年間、さまざまな取り組みを行ってきた。

その中でも特に思い出深いものの、1点目は聖域なき行財政改革を断行し、財政再建に取り組んだこと。2点目は三大プロジェクトの完成。3点目は三池炭鉱関連施設の世界遺産登録。まだ、一部課題を残しているが、現在の心境としては、多くの皆様のご支援・ご協力に心から感謝の気持ちを表したい。

(仮称)第5次総合計画の 新たな課題への対応

問 (仮称)第5次総合計画については、構成の見直しを図り、まちづくり総合プランとアクションプログラムとされているが、まちづくり総合プランにおける新たな課題を聞きたい。

答 今後のまちづくりにおけ

る最重要課題は、人口減少、少子高齢化に対応することだと思う。

そこで、子育て世代などを含めた若い人たちの希望をかなえる施

策と雇用、シティープロモーションの推進、大牟田への移住施策などが考えられる。



まちづくり市民ワークショップの様子

大牟田市協働のまちづくり 推進条例の目的と趣旨

問 協働のまちづくり推進条例の制定に向けては、市民憲章を踏まえ、基本方針や市民活動促進指針などの内容を網羅した条例制定に向け、市民検討会を行い、報告書がまとめられ条例原案とされた。

その原案は、策定審議会で審議され「おおむね妥当」との答申が示されたが、大牟田市協働のまちづくり推進条例の目的と趣旨を聞きたい。

答 本市では、協働のまちづくりの機運が根づいてきているこの時期を捉え、協働のまちづくりに関する考え方や目指す方向性の共通化と自助、共助、公助の観点からの市民や行政、関係団体の役割、仕組みなど協働のまちづくりに

関する基本理念やルールを条例という形で明確にし、市民全体で共有することにより、これを契機になお一層協働のまちづくりを推進していくことを趣旨・目的にしている。

消防行政の推進について

問 筑後地域消防通信指令業務の共同運用は、11月12日から本市は開始されるが、共同運用の効果と課題を聞きたい。

答 指令業務の共同運用については、高度化する消防行政に対応するため、住民サービスの向上と行財政上の効率化の観点から、本市を含む筑後地域8消防本部による通信指令に関する業務のみを共同で管理する整備を進めている。

効果としては、住民サービスの向上と行財政の効率化であり、想定される全ての課題について抽出し、確実な対応を行い円滑な業務開始に向けた取り組みを進めていきたい。

三池海水浴場の今後の対応

問 現在、明るい町づくり推進協議会主催の清掃活動が毎年行われており、参加者から、海水浴場再開要望の声が聞かれる。三池海水浴場の今後の対応について聞きたい。

答 海水浴場としての再開は難しいものがあるが、有明海に接する親水空間として、さらなる活用が図られるよう、関係機関と協力連携し取り組みたい。

将来を担う子どもたちが希望の持てるまちづくり戦略を



自由民主党議員団
森 竜子 議員

まちの魅力で 人口流出に歯どめを

問 大牟田らしさや魅力を発揮するのが地方版総合戦略であると考えているが、本市における総合戦略骨子案に独自性をどう盛り込んだのか。

答 ユネスコスクールによるESDの取り組みや世界遺産を活用した取り組み、認知症ケアなどの高齢者施策、災害が少なく温暖な地域であることや3大プロジェクトによる都市機能などが、本市の強みと思っている。

人口減少社会への対応を図るには、これらの強みや特徴を活かし、地域性のあるものとして本市の戦略を策定したい。

創生のチャンス 最大限活かして

問 国からは、試験研究機関等政府関係機関の地域移転や子育て世代包括支援センターのモデル地区、地域経済イノベーションサイクル施策など、さまざまな施策が提案されているが、本市にはこれらを活かした計画、また検討はなされたのか。

答 機関施設の移転については、県から紹介等がなかった。

子育て世代包括支援センター整備については、今後検討していく

課題の一つ。地域経済イノベーションサイクル施策については、どのような地域資源があるのかを全庁的に十分検討していく必要があると考える。

問 井筒屋跡や新勝立町の帝京大学跡、移転予定の大牟田北高、商工会議所跡、新大牟田駅周辺の開発も含め、有効な活用については、まちづくりの観点から行政と民間が一体となり、総合戦略の中で検討すべきではないか。

答 基本構想などにも土地利用の考え方を示しており、どのような施設、どのような機能を誘導するのかなど、検討しながら進めていきたい。

商業振興は行政が エンジン役になって

問 商業統計調査では、大型店が出店し新たな雇用が生まれたにもかかわらず、従業員数、事業者数とも激減しており、地元商業の衰退が数字にも表れている。新栄町駅前市街地再開発事業地区に隣接するホテルが建て替えを検討しており、やり方によっては活性化の目玉になると考えるが、

答 時期的には同じタイミン

グになるようなので、事業者が行う部分、再開発準備組合が行う部分をあわせ、地域の一体的開発ができればと思う。

次世代に選ばれる 子育て支援

問 学童保育所・クラブは、施設によって定員いっぱいの所もあるので、今後の受け入れ体制の強化を図るべきでは。

答 対象が拡大されたこともあり市内全体として21名の待機児童が発生している。

施設整備の前倒しも含め、検討を進めている。



元気いっぱい子どもたち

問 幼稚園の就園奨励費補助については、保育料の国基準額からの軽減率相当分を市単独費で上乗せをされているが、来年度の継続については、どう考えているのか。

答 現行幼稚園の新制度への移行の状況、国の動向や、近隣市の取り組み状況等を踏まえながら、次年度の予算編成の中で総合的に検討していきたい。

再発言 保護者の負担軽減も次世代に選ばれる子育て支援の一つ。新制度に移行した幼稚園や認定子ども園などの保育料についても、国の基準額から市独自で軽減した設定をなされているが、軽減が継続されるよう要望する。

一般質問



公明党議員団
今村 智津子 議員

妊娠・出産・子育てへの 切れ目のない支援について

問 子育て世代包括支援センターを設置し、段階に応じた窓口の体制強化とプライバシーに配慮した相談室、人材の

確保が必要であるが見解は。

答 相談のスペースや専門職などの人材確保は十分とは言えない状況もある。

切れ目のないワンストップ拠点の設置に向け、運営の手法や医療機関などとの連携のあり方、人材確保などについて検討を進めていきたい。

問 産前産後ケアの取り組みについて考え方を聞きたい。

答 妊産婦や乳児と保護者の相談、仲間づくりのための事業などを実施している。

個別のケアが必要な妊産婦

に対しては、保健師等による継続した支援、医療機関などとの連携といった包括的な支援体制の構築が重要になる。

本市の実態に合った産前産後ケアの実現に向けて取り組んでいきたい。

教育行政について

問 コミュニティースクールの導入について聞きたい。

答 実態に即した効果的で実効性のある新しい制度の検討も含め、今後も研究を行う。



社民・民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

おおむたスーパープレミアム 商品券発行事業の効果は

問 本市への効果を聞きたい。
答 昨年比で発行額が2.5倍、登録店舗数が1.8倍になるなど地域経済の振興につながる。

問 割引購入券使用が半分も使われていないが市の考えは。

答 結果だけを見ると、購入が難しい方もいたと考える。

再発言 対象者にも格差があったと思われる。次に同様の事業があるときは、金額を下げるなど配慮されたい。

いただき、また、8月に多目的トイレをご寄付いただいた。

再発言 市内の多目的トイレなどのマークを様々なパンフレットなどに掲載されたい。

国連障害者権利条約と これからのまちづくり

問 条約が求める障害がある人となない人との平等な共生社会の実現に向けた障害者差別解消法の準備体制を聞きたい。

答 障害者自立支援協議会で、差別解消に向けた取り組みを官民一体となって進めている。

世界遺産登録後の まちづくり

問 バリアフリー化の現状と課題について聞きたい。

答 宮原坑では車椅子等の方は、敷地内に直接乗り入れて

らと思うが、考えを聞きたい。

答 来訪者をもてなす環境整備としてガイダンス機能を充実し、本市の食文化に関わる店舗紹介やルート案内による市内回遊など、関係機関や事業者と協力しながらおもてなしや地域の活性化に努めたい。

り組むべきでは。

答 これまでも本市の情報発信に努めてきたが、PRが不足との意見もあることから、庁内で情報発信プロジェクトを立ち上げ、魅力発信に特化した取り組みを始めた。

また、先進地の事例調査や研究を行い、魅力ある地域発信のあり方や今後の推進体制を検討している。さらに、シティープロモーションに関する戦略等をつくる必要があると考えており、推進体制を整えた上で取り組んでいきたい。



自由民主党議員団
今泉 裕人 議員

本市の振興に向けた 消費拡大

問 世界遺産登録に伴い、本市への来訪者は、7月と8月で延べ約3万人。今後、消費拡大につなげていく必要がある

シティーセールスによる 戦略

問 シティーセールスにより人口増加が進んでいる自治体がある。本市も計画や戦略をまとめ、官民一体となって取

一般質問



自由民主党議員団

山口 雅夫 議員

小中学校での
学校教育について

問 戦後70年の節目を迎えたが、記憶の風化は絶対に防がなければならない。本市の小中学生は、戦争史をどのよう

に学んでいるのか。また、後世への記憶の継承をどのようにして図っているのか。

答 平和教育の中で資料集等を活用したり、ゲストティーチャーを招き、読み聞かせや体験等による学習を行っている。また、平和展や朗読劇、講演会等により平和を願う心を結集し、次世代に継承する事業を展開している。

問 人口減少化時代においても、年間の死亡原因数の第2位に匹敵する件数の人工中絶手術が行われている。特に社

会的責任能力が伴っていない未成年者が問題であると思えるので、倫理観や貞操観念の醸成が重要である。人工中絶手術の現実や命の重さをどのように教育しているのか。

答 発達段階に応じて性教育を行っているが、人工中絶手術については、小中学校では学習しない。自然や動物と触れ合う活動を通して命の力強さや失った命は二度と取り戻せないことなど、命の大切さや自他の生命を尊重する態度を育む指導を行っている。



無所属

島野 知洋 議員

スポーツを通じた
まちづくり

問 新総合体育館建設には、十分な論議が前提。そこに市民意見等が反映できるような、考慮はなされるのか。

答 候補案に対する市民意見やスポーツ団体等の意見を聞くとともに、財政計画や公共施設維持管理計画との整合を図りながら最終案を決定する。

その後、改めてパブリックコメントを実施する予定。

郷土愛を育む
義務教育の充実

問 郷土愛を育む道德の授業の現状について聞きたい。

答 地域の伝統行事や文化に触れることで、郷土を愛する心を持つ児童生徒の育成に努

めている。

また、総合的な学習時間などで、子ども大牟田検定を実施している。

問 義務教育における35人以下学級編制の見通しについて聞きたい。

答 各学校などから意見を聴取しながら、35人以下学級編制のあり方の検討を進めるとともに、引き続きその早期実現に向けた法整備について、全国都市教育長連絡協議会などの組織を通して、国や県に要望していく。



無所属

城後 徳太郎 議員

世界文化遺産登録後の
取り組み

問 三池港閘門の定期見学、三池港クルージングの開催予定とビジネス化など、新たな展開は。

答 三池港は稼働資産であることから閘門の定期見学については厳しい状況。三池港クルージングについては10月、11月に開催を予定している。

定期的に行うには施設管理者と協議を行う必要があり、その上でビジネスとして取り組むことができないかを船舶関係者と協議を進めている。

問 新規来訪者増加のための積極的なPRの計画は。

答 九州観光推進機構主催の観光素材説明会、相談会へ参画し、旅行会社へのプロモ-

ーション活動を行っている。

あらゆる機会を通してPRを積極的に行い、まずは誘客、そして来訪者が来てよかったと感じていただき、口コミやSNSでの情報拡散などで、さらに来訪者が増加するよう取り組みを進めていきたい。

再発言 世界文化遺産登録後、多くの来訪者が来ている今が市のすばらしい魅力を発信する最大のチャンス。

情報は常に新しいものを求められているため、登録からの1年が大事だと思う。

トピックス

新しく「まちづくり・活性化特別委員会」を設置しました

市議会平成27年度第3回定例会最終日の9月30日に、全会一致で新しい特別委員会「まちづくり・活性化特別委員会」を設置しました。ふるさと創生に今後も積極的に頑張ります。



まちづくり・活性化特別委員会

【委員長】三宅智加子
 【副委員長】森竜子
 徳永春男、塩塚敏郎、平嶋慶二、古庄和秀、松尾哲也、橋積和雄、島野知洋、城後徳太郎

総合計画に関する事項の協議を行います。

委員会のメンバー構成及び所管事項の紹介2



議会運営委員会

【委員長】古庄和秀
 【副委員長】森竜子
 徳永春男、大野哲也、三宅智加子、松尾哲也、北岡あや

議会運営に関する事項の協議を行います。



議会改革特別委員会

【委員長】田中正繁
 【副委員長】高口講治
 山口雅夫、大野哲也、平山伸二、平山光子、森田義孝、中原誠悟、森遵

議会改革に関する事項の協議を行います。



議会報編集委員会

【委員長】橋積和雄
 【副委員長】平嶋慶二
 今泉裕人、大野哲也、島野知洋

議会だより編集に関する事項の協議を行います。

行政視察受入 (7月~9月)

| 月 | 日 | 都道府県 | 団体名 | 視察項目 |
|---|----|------|-------|---------------------------------|
| 7 | 3 | 北海道 | 江別市議会 | 大牟田市産業活性化推進協議会及び産学官連携の取り組みと成果 |
| | 7 | 京都府 | 綾部市議会 | 地域認知症ケアコミュニティ推進事業 |
| | 10 | 愛知県 | 小牧市議会 | 議会基本条例施行状況、議決事件 |
| | 13 | 大分県 | 国東市議会 | 議会報告会 |
| | 15 | 愛知県 | 碧南市議会 | 地域認知症ケアコミュニティ推進事業 |
| | 16 | 福島県 | 相馬市議会 | 重要港湾三池港を活用した地域振興 |
| | 29 | 静岡県 | 三島市議会 | 公共施設維持管理計画 |
| | 30 | 宮城県 | 名取市議会 | 電子自治体の推進(証明書等コンビニ交付サービス) |
| | 3 | 静岡県 | 富士市議会 | 国の承認を受けた大牟田エコタウン事業の現状 |
| | 4 | 静岡県 | 静岡市議会 | ユネスコスクール |
| 8 | 4 | 東京都 | 大田区議会 | 市立学校全31校のユネスコスクール加盟の取り組み |
| | 5 | 千葉県 | 千葉市議会 | 地域認知症ケアコミュニティ推進事業、老朽危険家屋等除却促進事業 |
| | 19 | 大阪府 | 吹田市議会 | 地域認知症ケアコミュニティ推進事業 |
| | 27 | 富山県 | 南砺市議会 | 地域認知症ケアコミュニティ推進事業 |
| 9 | 31 | 兵庫県 | 神戸市会 | 地域包括ケアシステム |
| 9 | | | なし | |

インフォメーション

■ 次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(平成22年度以降)を視聴できます。

■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できます。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。

編集後記

議会が新体制となり6月、9月の2回の定例会と平成26年度各会計の決算特別委員会が開催されました。決算特別委員会では、それぞれの視点から多くの意見・要望が出されました。そして今回、まちづくり・活性化特別委員会も設置されました。真の活性化したまちづくりに向け行政と議会の市民の負託に応えられた切磋商磨した議論が求められています。(慶)

■ 編集 議会報編集委員会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】平嶋慶二
 【委員】今泉裕人 大野哲也 島野知洋

■ 発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
 TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp

■ 印刷 精巧印刷株式会社